

ヒロセ通商株式会社

登録番号：第一種金融商品取引業 近畿財務局長（金商）第41号

加入協会：日本証券業協会

一般社団法人金融先物取引業協会（会員番号 1562）

ヒロセ通商株式会社

店頭バイナリーオプションリスク説明書

(LION BO)

当社は、金融商品取引法が定める金融商品取引業者として同法の適用を受けます。また、当社は、金融サービスの提供に関する法律が定める金融商品販売業者として同法の適用を受けます。本説明書は、金融商品取引法及び金融サービスの提供に関する法律の規定に基づき、お客様に店頭バイナリーオプション取引(LION BO)に関連するリスクについての情報を提供するものですので、本説明書を熟読して内容をご理解いただいたうえで口座開設のお申込みを行ってください。

店頭バイナリーオプション取引(LION BO)（以下、「オプション取引」といいます。）は、元本が保証されている取引ではなく、外国為替市場や金利の動向によっては、利益が得られることもあります。また、損失を被ることもある取引です。オプション取引は、短期間で大きな利益を得ることもありますが、お客様がオプションを購入するために支払ったオプション料（以下、「プレミアム」といいます。）の全額を失うこともあります。また、対象原資産である為替相場に直接投資するよりも、一般に損失の割合が大きくなります。

1. 価格変動リスク

オプション取引は、為替レートを指標として行う取引であり、為替レートの変動によりお客様が損失を被るリスクがあります。従って、当社に預託された資金及びオプション取引による利益が保証されるものではありません。

オプション取引は、元本が保証されている取引ではなく、外国為替市場や金利の動向によっては、利益が得られることもあります。また、損失を被ることもある取引です。オプション取引は、短期間で大きな利益を得ることもありますが、お客様がオプションを購入するために支払ったプレミアムの全額を失うこともあります。また、対象原資産である為替相場に直接投資するよりも、一般に損失の割合が大きくなります。

2. 流動性リスク

外国為替市場は、きわめて取引高が多いものの、各国の祝祭日、戦争・動乱や天災地変、

経済動向を大きく左右する事態、また、各国の規制や処置等による取引の制限、取引の停止、さらに、金融機関の破綻等によって、流動性の低下または流動性が損なわれる場合もあります。オプション取引においては、取引が開始される前において重要経済指標の発表、経済情勢の激変、為替相場の急変等の事情により、取引を変更又は取消とすることがあります。また、取引が開始されている場合であっても、市場レートから著しく乖離が認められる異常レートの配信、通信・システム障害の発生等、やむを得ない突発的事象により取引を無効又は取消とすることがあります。

3. 電子取引システムの利用のリスク

電子取引システムでは、注文の受付に人手を介さないため、証拠金取引において、お客様が売買を行う場合、誤発注等により意図しない注文が約定する可能性や意図した注文が約定しない可能性があります。オプション取引においては、誤発注等により意図しないオプションを購入する可能性があります。また、電子取引システムには、当社またはお客様ご自身の通信・システム機器の故障、通信回線等の障害・混雑、情報配信の障害、あるいは電子取引システムそのものの障害等様々な原因で一時的または一定期間にわたって利用できない状況が起こる可能性、また何らかの原因で電子取引システムが利用できない場合は一切の注文等の取引行為が行えない可能性があります。電子取引システム上で表示される為替レート等の情報は、必ずしも市場レートを正確に表示しているとは限りません。為替レートが急激に変動した場合、為替レート等の情報は遅れ気味となり、電子取引システム上の為替レート等の情報と市場レートとが乖離する可能性があります。電子取引システムを利用する際に用いられるログインID、パスワード等の情報が、窃盗、盗聴等により漏れた場合、その情報を第三者が悪用することによりお客様に損失が発生する可能性があります。

4. 信用リスク

オプション取引は、当社とお客様との相対取引であり、取引の相手方である当社の信用状況により損失を被る可能性があります。

5. カバー先の信用リスク

当社は、お客様から注文を受付けた場合、直ちに当該注文に呼応するカバー取引を行いますので、お客様には、カバー先の信用状況により損失を被る可能性があります。

6. 営業時間外の取引リスク

当社の営業時間は、日本の祝日を除く、日本時間の月曜日から金曜日までの午前9時から午後6時までとなっております。当社の営業時間外における取引においては、障害発生時も含め、十分なサポートが提供されない可能性があります。

以上は、オプション取引に伴う典型的なリスクを簡潔に説明するものであり、オプション取引に生じる一切のリスクを漏れなく示すものではありません。オプション取引を開始される場合、取引の仕組み及びリスクについて十分にご理解頂くようお願い申し上げます。

2022年3月7日現在